

社会福祉法人 パール

地域の方々と豊かな暮らしを創造する

社会福祉法人パール

〒150-0035東京都渋谷区鉢山町3-27

電話 03-5458-4811

<https://www.shibuya-pearl.or.jp>

発行日 令和7年3月1日

発行人 新谷弘子 制作編集 入江祐介

# パールだより

3月号

パールが大切にしている基本三理念 一人間の尊厳 一人の尊重 共に生きる社会づくり



## パール in ビジョナリーアーツ

2月5日(水)12日(水)と二週にわたって動物看護学校のビジョナリーアーツが来所下さり、アニマルセラピーを開催いたしました。

小型犬から大型犬まで様々な大きさのワンちゃんが生徒さんと一緒に遊びに来て下さいました。

ご利用者とのPK対決や、お手やお座りだけでなく色々な芸を見せて下さり、ご利用者も一緒に掛け声をかけて下さっています。

最後には、ビジョナリーアーツ特性のカレンダーを頂きました！素敵な時間をありがとうございました！





Happy time



## デイサービスセンター・パール鉢山

当たり前の事を、当たり前のできる事業所であるために その31

# デイサービス・パール鉢山の未来



デイサービスセンター・パール鉢山  
管理者 菊池 努

「介護サービス事業におけるこれからの生産性の向上」については令和4年7月の当法人全体研修「介護展望」で渡邊事務長から発表があり、厚生労働省の「ガイドライン」を元に、克明に説明をいただきました。

デイサービスセンター・パール鉢山では「生産性向上」を目指した取り組みの一環として、介護記録システム・レコセラを導入。「ICT化の実現」=レコセラというシステムを導入して「記録業務の簡素化」「必須書類・帳票の効率化」「業務連携の円滑化」を勧めることへ「難しさ」と「トライ状況」については、同年の「介護展望」（新井管理者=当時）にて皆様にお伝えしました。また、昨年の「有資格者の視点」（内島看護師兼生活相談員）において、これらの試みの「今後と成果」も報告いたしました。

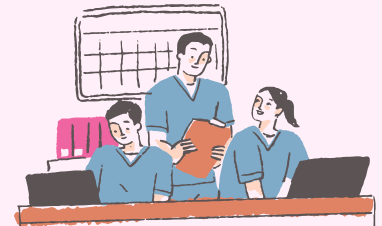
結果、利用者管理の徹底・送迎表の迅速な作成・利用記録とそれらを反映させた「通所介護計画書」等のスマートな作成、LIFEの変更・提出、などの業務が以前よりもスムーズに進むことができるようになりました。前述の厚生労働省「ガイドライン」記載の7項目のうち、④記録・報告書様式の工夫⑤情報共有の工夫日々の利用者管理・送迎表作成・記録・方向様式の工夫、の2項目が向上したと言えるでしょう。



厚生労働省「ガイドライン」には他に①職場環境の整備、②業務全体の流れを再構築とテクノロジーの活用、③手順書の作成、⑥OJTの仕組み作り、⑦理念・行動指針の徹底が謳われています。まだまだ改善すべき課題は山積しており、管理職から一般職員まで全ての職員各々の知恵と行動が求められます。

また処遇改善は、2024年度の介護保険法改正で一本化されましたが、現在の準備期間を経て、今後はより満たすべく職場環境等要件が大幅に変更されて本格運用がなされていきます（当初予定の来年度から、先送りになりました）。

パール鉢山は、明るい未来への扉が開けるように、今後も時代の壁を突き破る大改革を目指していきたくと思います。



【厚生労働省】

**より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き）  
（介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン）**

<b>①職場環境の整備</b>	<b>②業務の明確化と役割分担 （1）業務全体の流れを再構築</b>	<b>②業務の明確化と役割分担 （2）テクノロジーの活用</b>	<b>③手順書の作成</b>
<p>取組前 → 取組後</p>	<p>介護職の業務が明確化されていない → 業務を明確化し、適切な役割分担を行いケアの質を向上</p> <p>介護職員が専門能力を発揮が実現</p>	<p>職員の心理的負担が大きい → 職員の心理的負担を軽減</p>	<p>職員によって異なる申し送り → 申し送りを標準化</p>
<b>④記録・報告様式の工夫</b>	<b>⑤情報共有の工夫</b>	<b>⑥OJTの仕組みづくり</b>	<b>⑦理念・行動指針の徹底</b>
<p>帳票に何度も転記 → タブレット端末やスマートフォンによるデータ入力（音声入力含む）とデータ共有</p>	<p>活動している職員に対してそれぞれ指示 → インカムを利用したタイムリーな情報共有</p>	<p>職員の教え方にブレがある → 教育内容と指導方法を統一</p>	<p>イレギュラーな事態が起こると職員が自身で判断できない → 組織の理念や行動指針に基づいた自律的な行動</p>
4			
<b>全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案における介護保険関係の主な改正事項</b>			

# ボランティア<サポーター>とのつどいから 感謝

社会福祉法人 パール  
理事長 新谷 弘子  
管理部長 山口 カネ子

サポーター（ボランティア）としてご参加、パールの安全経営の心づかい、地域の方々の幸せをサポートして下さる方々と、お話し合いの会を持ちました。

## まず理事長の私から皆さん方のお心使いに対し、心から感謝をお伝えいたしました

社会福祉法人パールの安全かつ快適な活動や、パールライフの地域支援活動に参加されている方々の活動は、地域の町会長・民生委員・地域にお住いの活動家等のサポートの心遣いにより、地域の方々の安全・かつ楽しい活動が実現出来ていると考えます。

## パールの3理念

（人間らしい生活・その人らしい生き方・お互いに伝えあう温もり）

パールの基本理念を説明し、新たにお伝えしました。ボランティアに参加して居られた方は、50年位前は、数百人位居られました。

病院ボランティアとして、**日赤医療センター**で、受付で患者様へのサポート。寄付していただいた書籍を置く場所を日赤で用意して頂き、無料で貸し出し。**九段坂病院での活動**は、患者様のお話相手など、病院のご指導に従ってのボランティア活動。**手作りグループ**は、衣類の修繕などの活動。大活躍でした。

## 筑波大学付属・視覚障害者施設が文京区で日本女子大の後方にあります。

先生の協力依頼で、朗読テープ作成・対面朗読サービス。日本の文字も教えたいとの依頼で、1.5センチ四方の下敷きを作り、視覚に障害のある方の為に拡大で丁寧に字を書きました。

写本の手作り活動には、一文字ずつ書く。全国の弱視学級の生徒の教科書を拡大字で作りました。文部省では、校長会に費用を用意されて、全国の弱視学級に配布し大変に喜ばれました。最近パソコンのおかげで効率よく製本が出来るようになりました。パールの地域交流スペースに、沢山の拡大本が展示されていますので、見に来てくださいませ。

社会福祉法人パールを開設・設計する時、介護保険事業の活動の場、特別養護老人ホーム関係、デイサービス関係、訪問介護・訪問看護・福祉用具関係などを、まず設計しました。

その他、地域支援の為に「地域交流スペース」を厚労省と相談の上、1階の広い場所（3室位のスペース）と地下の会議室は、地域交流スペースとなります。これらは地域支援事業の場として、厚労省から資金を出して頂きました。パールライフ活動は、ご利用者の希望のクラブ活動を行う大変好評の地域支援事業です。

しかし、思いがけない問題が起りました。それはコロナ対策です。集合が危険であるため、地域の利用者が在宅待機となりました。

元気なはずの方々が在宅生活をされる様になると、体調を悪くされたり、転倒されたり、弱ってこられた情報が入って来ました。

渋谷区福祉部長ともご相談をし、サポーターによる、週2回位の電話訪問を1人で2人位のスペースで担当して頂き、皆さん気持ち良く、パールで顔見知りになった方を担当して頂きました。

その都度、心配な事など、様子を感じた時は、早く報告して下さいます。その時は、地域包括支援センターや、ケアマネ・または、医師などに報告し相談しました。

福祉部長から情報を他言しない様にとご指示がありサポーターに伝えました。皆さん了解。

### 山口管理部長から、サポーターさん達の気持ちを聞いていただきました

- 1, 入口の受付で、以前お会いした方と偶然に再開、声を掛けていただき嬉しかったです。
- 2, お年を召された方と、自然にお話できるようになり、それが楽しいのです。自分がこんな特技を持っていると発見しました。パールライフの方々とつながりが出来、視野が広がりました。
- 3, ご家族がパールのサービス活動を受けていた時、チョット無理なお願いを快く引き受けて下さったので、感謝の気持ちを込めてパールにお手伝いをさせていただいています。
- 4, 地域のシニアクラブでもお手伝いしていますが、パールでも抵抗感なく仕事をさせていただき、参考になりました。
- 5, パール設立当時は、自分が若かったので他人事の様に思っていたのですが、25年も経過しますと、自分にも身近に感じられるようになりました。家も近いのでお手伝いさせて頂いています。
- 6, パールのチラシを、町内会やマンションの掲示板に貼って協力して下さい、有難いと言って下さいました。
- 7, 電話訪問で心配して、頑張った時を思い出しました。
- 8, コロナ対策で午前と午後、エレベーターの消毒もやっています。テーブルを、食事や会合など多数が活用するので、1日に2回吹いて消毒しています。玄関の室内用スリッパの消毒。お花の水やり。空気の入れ替え。など清潔を保つ努力を皆でやっています。

時代と共に、女性の社会参加や就労者が増加し、ボランティア活動に時間を取って下さる方々が、パールではサポーターなど増えて感謝です。

### まとめ

時代と共に、女性の社会参加や就労が増加し、「人のために役立ちたい」、と始めて始めたボランティアが、実際に活動を始めてみると、「今まで出会う事のない人と出会えた」、「違った世界の人達と知り合えた」、「自分自身の勉強になり、生きがいを感じた」とその喜びを語る方も多く見られます。

すべての人が本当に人間として尊重され、共に助けあっていく社会を作るためにも、時間の許す限り、パールのサポーターとして、参加して下さいることを期待しております。

現在月・水・金、活動で、パールライフに参加して居られる方々は、次の様な好みのクラブの中から、好みを選んで参加。皆さんビックリするほど元気になられます。

ふれあい 生きがい 助け合い を目的として 頑張ってください。

書道 茶道 脳トレ 麻雀 英語 折紙 コーラス 塗り絵 筋トレ 映画鑑賞 数独 お話

参加メンバーとして、またはサポーターとして。皆様のご参加をお待ちしております。



# こどもテーブル

パールライフ  
山田 雅行

パールでは毎月第3水曜日17時～19時にパールこどもテーブルを開催しています。

2月19日に開催したパールこどもテーブルでは渋谷区社会福祉協議会さんからご紹介頂いたTRUNK(HOTEL) YOYOGI PARKさんからピザをご提供頂きました。ホテルのレストランの高級ピザです。

TRUNK(HOTEL)さんは「寄付食品を提供することにより子どもたちの健全育成に寄与する」観点からこども食堂にピザをご提供され、パールこどもテーブルにご協力頂いたものです。

ピザの提供をチラシに入れ、告知した影響でしょうか本年度最大のこども11人、保護者7人 合計18人の参加がありました。

青山学院大学のボランティアサークル「しぶっこ」からも3人が参加して頂き、こどもたちや保護者と一緒に活動して頂きました。

こどもたちはピザやスープ、おにぎりを食べた後、ゲームをしたり室内を走り回ったりして楽しんでいました。お菓子のカヌレにも喜んでいました。

保護者たちは遊んでいるこどもたちを横目に、子育ての大変さについて意見交換をしたり情報交換が進みました。

保護者からはこどもの年齢差にかかわらず皆楽しそうに遊んでいる、保護者同志の交流が出来てとても良かったとのお声が聞かれました。





# 腸活



栄養・調理センター  
栄養士 江守 由衣

## 腸活とは

腸内環境をより良い状態にするために、食事に気を付けたり必要な運動をしたりする活動です。良い腸内環境とは、腸内にいる細菌の量のバランスが保たれている状態のことを指します。良い腸内環境は、健康寿命を伸ばす要因になるため、早めの行動をしましょう。

## 生活改善から行う腸活

腸活は大まかに分けて運動・食事・生活習慣これらを適正に行うことが重要となります。

### 運動

便を出す力のもとになる腸腰筋を鍛えることを目的とする  
90分以上のウォーキング、エクササイズなどが効果的とされています



### 生活習慣

一日3回の食事を適切なタイミングに行うことや、正しい睡眠時間の確保は腸内細菌のバランスを崩さないために重要とされています。

### 食事

発酵食品などの善玉菌を含む食品の摂取や、すでに腸内にいる善玉菌のエサとなる食品の摂取で腸内の善玉菌の増やしましょう

**善玉菌を含む食品**…ヨーグルト、納豆、チーズ、乳酸飲料、キムチなど

**善玉菌のエサとなる食品**…海藻類、きのこ類、イモ類、ごぼうなど



## パールレシピ

# ヨーグルト甘酒ソース

材料（2人前）

- ・ビフィズス菌入りヨーグルト…60 g
- ・甘酒……………40 g
- ・マスタード………40 g
- ・塩、こしょう…少々

サラダのドレッシングとしても、お肉やお魚の味付用ソース

**どんなお料理にも合う万能なソースです！**



## 事例紹介

# パールの強み

## 認知症の母親と精神障害のある娘さまの事例から



パールケア  
相談支援専門員 竹内 理恵

M.Y様64歳女性の方の事例です。ご本人との関わりは7年前、そもそも母親の介護に入っていたパールケアのワーカーが精神的に不安定な娘さんの存在を明らかにし相談支援専門員が介入しました。当時はご本人にもご家族にも病気に対する情報不足もあり、説得して通院を促し、現在は統合失調症の治療を受けていらっしゃいます。そして障害者手帳を取得し支援にも繋ぐことができました。同じ建物にご本人と母親、別の階に弟様家族が居住、1階に家族経営の店舗があります。ご本人と母親は居室と店で、常に一緒に過ごしていました。本人は気が弱く幻聴にさいなまれながらも、気性が激しく認知症が進行した母親の介護を強いられていました。夜中も起こされ、始終、用を言いつけられて、ストレスから過剰な服薬や過食が見られ、顕著な体重増加とともに歩行困難になって緊急入院したこともありました。その後も、双方に訪問看護・訪問介護も介入し、ご本人のレスパイトのために入院も試みていましたが、実現には時間を要しました。ご本人がレスパイト入院中は、夜中に110番通報してしまう母親の対応に苦慮した弟さまが、医師の制止を聞かず、母親の介護のために本人を連れ戻さざるを得ない事態も起こりました。

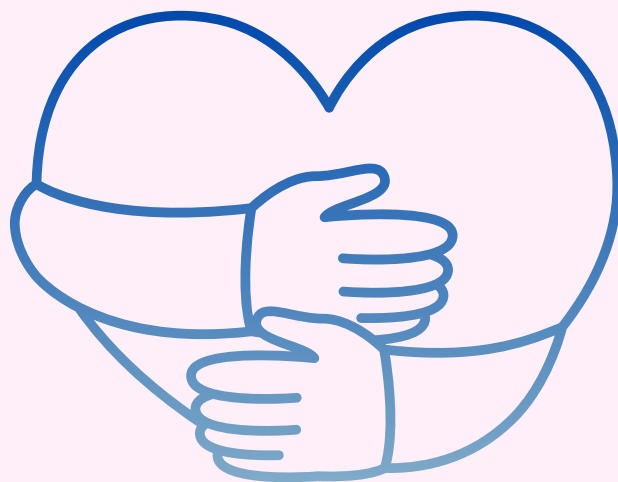
- ① まず、弟様ご家族のレスパイトを図るために、母娘をパールライフ（認知症予防教室）に誘いました。今まで、自宅以外では過ごされたことのないご本人でしたが、自宅に訪問している馴染みのワーカーの声かけもあり徐々にパールに慣れていきました。母親はこの教室の「折り紙先生」を気に入り、毎週、参加して下さいました。そして、馴染みのワーカーの介助により、今まで自宅でしか行ったことのないトイレに入れるようになりました。
- ② 母親の認知症による周辺症状（罵声・暴言・物を投げる・介護拒否）は家族や介護者にとって非常に厳しいものでしたが、ケアマネにより専門医とつながり、治療の効果が徐々に現れ、今まで実現できなかったショートステイが可能となりました。
- ③ 弟様は、当初この専門医の訪問に抵抗があり、母親の治療を拒否していましたが、ケアマネと相談支援専門員が連携して、状況の理解を説得しました。
- ④ ご本人は、腰部脊柱管狭窄症の発症と体重の増加で歩行にも支障をきたし、再度緊急院となりました。

ここで、支援チームとしては、娘さまの入院中に母親の施設入所を検討し、娘様が退院後もリハビリを継続できる環境を模索することが急務であると結束しました。

ケアマネからの真摯な働きかけと専門医による丁寧な治療、施設スタッフの方々のおかげで、母親は、少しずつ様子を見ながらショートステイを延長して、そのまま同施設に入所が叶いました。本人は3ヶ月の入院で精神的に安定し、体重の減少とかがうじて自力での杖歩行が可能となりましたが、リハビリの継続が必須でしたので、脊柱管狭窄症による第2号被保険者として、介護保険に移行しました。現在は訪看によるリハビリとパールのデイサービスを楽しまれています。以前は精神状態が悪く、週に2・3回通院を切望されていましたが、今は月に1回となりました。当初は抵抗のあったデイサービスでの入浴も、スタッフの方が緩やかに対応くださり、現在は週に2回利用されています。弟様家族も、穏やかな生活を取り戻されました。週末には母親の面会に足を運んでいると言われています。

障がいのある子と認知症で高齢の親の問題は年々増えていますが、今回のケースは、パールの社会資源と専門性が存分に発揮され、「TEAMパール」の強みを活かせたのではないかと思います。家族の崩壊さえ危ぶまれましたが、年月をかけパール独自のサービスと職員との連携もあって、それぞれの意思をこまめに確認しながら進めることもできたように思います。この他にもパールの配食、福祉用具、ショートステイにもお世話になりました。「TEAMパール」を誇らしく思いますし、感謝の思いが溢れます。

パールをご利用いただいている皆さまも、どうぞ※下線部の社会資源のある事業ですき、益々お元気でお過ごし下さいますように。



## 第7回

## 福祉・介護の

2025

## おしごとフェア

特別養護老人ホーム・パール代官山  
施設長 入江 祐介

&lt;開催日時&gt;

令和7年2月8日（土）13時～16時

&lt;開催場所&gt;

渋谷区役所15階スペース428

&lt;実施団体&gt;

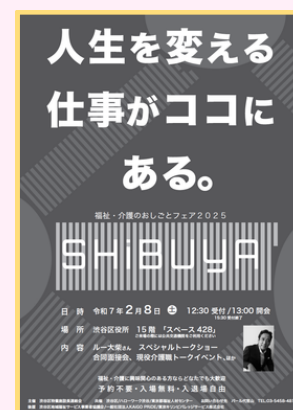
主催 = 渋谷区特養施設長連絡会（区内10カ所の特養ホーム）

共催 = 渋谷区役所・ハローワーク渋谷・東京都福祉人材センター

後援 = 渋谷区地域福祉サービス事業者協議会

一般社団法人KAiGO PRiDE

東京キリンビバレッジサービス株式会社



令和7年2月8日（土）渋谷区内の特別養護老人ホーム施設長連絡会が主催者となり、渋谷区役所及びハローワーク渋谷、東京都福祉人材センターとの共催により、『第7回 福祉・介護のおしごとフェアinしぶや2025』を開催しました。区内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設と障害者団体、在宅事業者の計13団体が参加。

当日は、63名の方のご来場を頂き、渋谷区長の挨拶から始まり、主催者挨拶を経て、①渋谷で働く介護職員トークセッション、②芸能人のルー大柴さんによるスペシャルトークショー、③合同面接会・会社説明会を開始。同時に、パラマウントベッド(株)・(株)ヤマシタ等の展示ブースも出展。前回より広報活動強化のため、東京都福祉人材センターにも共催を頂き、チラシ・動画のデザインも変更。事前に写真展の開催、SNS等での広報を実施。芸能人を招いたイベント効果もあり、前回よりも大幅に集客数を伸ばすことが出来ました。



本合同就職フェアの趣旨は、人材確保もさることながら、法人の垣根を超えた絆の構築が目的。ご利用者を支える『職員が働きやすい街=渋谷』を目指し、今後も合同就職フェアに合わせて、各種イベントを開催予定。

福祉・介護の魅力を渋谷区から発信し続けて参ります！

# 当日の様子



渋谷で働く介護職員トークセッション



ルー大柴さん スペシャルトークショー

2025年2月 		
1	土	節分献立(厨房)
2	日	お誕生日会(特養)・特養おやつバイキング(厨房)
3	月	主任会議(特養)
4	火	経営会議・品質会議・新人採用会議 ケアマネ会議(居宅)・カンファ(訪看)(用具)
5	水	アニマルセラピー(特養)
6	木	オレンジカフェ【虹の会】(居宅)・連絡協議会研修(訪看)
8	土	渋谷おしごとフェア
9	日	特養おやつバイキング(厨房)
11	火	経営会議・ケアカンファ・中途採用会議 ヘアカット【マロン】(特養)・サービス提供責任者会議(パケ) ケアマネ会議(居宅)・カンファ(用具)
12	水	アニマルセラピー(特養)・訪問看護連絡協議会会議(訪看)
14	金	セコム消防設備点検・バレンタインおやつ(厨房)
16	日	特養おやつバイキング(厨房)
17	月	ケアマネ会議(居宅)
18	火	経営会議・品質会議・経営戦略会議 東社協栄養研修委員会(厨房)・カンファ(訪看)(用具)
19	水	特養会議(特養)
20	木	オレンジカフェ【虹の会】(居宅)
21	金	サービス担当者会議・在宅カンファ(パケ)
23	日	特養おやつバイキング(厨房)
25	火	経営会議・ケアカンファ・福祉会計 ケアマネ会議(居宅)・カンファ(用具)

2月業務実績報告		
施設介護稼働率	特養	94.3%
	短期入所	100.4%
通所介護稼働率	一般クラス	78.5%
	認知クラス	63.9%
訪問介護1日平均利用件数	本部	47件
	原宿	15件
訪問看護	1日平均利用件数	10件
居宅介護支援実績件数	本部	100件
	恵比寿	99件
	原宿	72件
福祉用具	貸与者数	139件
配食サービス	1日平均利用食数	95食
キッチンパール		5食



# Information






## 特養 Instagram



@PEARL\_TOKUYOSHIBUYA

## パール 公式ホームページ



www.shibuya-pearl.or.jp/